

統計と地図を用いた「日本の農業学習」

青森県平内町立小湊中学校 寺田 充 伯

子どもたちは、何か調べるものがあるとき、たとえば写真をみて「これはどこの国の写真だろう。」と発問したとき、必ず統計資料にヒントを求めます。

つまり、課題をもって調べたいと思ったときに統計資料を頼りにする。

そこで日本の農業学習にあたって、統計を調べざるを得ない課題を設定していく。

県番号	都道府県	都道府県庁の所在地	人口(万人)	面積(km ²)	農業生産額(億円)		耕地面積(km ²)		米(水・陸稲)(万t)		野菜(億円)	
					2004年	2003年	2004年	2003年	2004年	2003年		
1	北海道	札幌	565	83,41	10,579	11,729	82,4	1,634				
2	青森	青森	148	①・9,61	2,402	1,597	31.5	607				
3	岩手	盛岡	141	15,21	2,587	1,571	32.8	274				
4	宮城	仙台	235	7,21	1,870	1,386	44.3	284				
5	秋田	秋田	117	①・11,61	2,208	1,528	45.8	269				
6	山形	山形	123	9,31	2,349	1,254	39.7	316				
7	福島	福島	212	13,71	2,640	1,540	45.9	511				
8	茨城	水戸	299	6,01	4,194	1,775	43.6	1,414				
9	栃木	宇都宮	201	6,41	2,786	1,307	39.3	703				
10	群馬	前橋	202	6,31	2,210	792	9.9	816				
11	埼玉	さいたま	999	3,71	2,004	854	19.7	840				
12	千葉	千葉	600	5,11	4,319	1,345	35.2	1,711				
13	東京	東京	1,208	2,11	280	84	0.1	161				
14	神奈川	横浜	980	2,41	751	212	1.7	371				
15	新潟	新潟	246	12,51	3,281	1,788	58.5	308				

「中学校社会科地図 初訂版」p.135

発問1 農業生産額Best 5の都道府県名を予想してノートに書きなさい。

北海道や鹿児島、新潟や東北地方の県名が挙げられるのではないだろうか(板書しておく)。そこで正解を調べる作業を入れる。

指示1 正解は、地図帳p.135の①「都道府県別の統計」に載っています。

予想の隣に正解を書きます。

子どもは正解を求める傾向が強く、自分の予想を消そうとするので、消さないよう注意をする(正解も板書)。正解は、①北海道②千葉③茨城④鹿児島⑤新潟である。

発問2 予想と何が違いましたか。

自分だけでなく、黒板にある他の人の予想と正解との違いも書くようにする。千葉・茨城など関東地方の県が入っていることに気づくだろう。近郊農業が指摘できる。

発問3 なぜこの5県は生産額が多いのか。

統計を使って説明しよう。

統計をみるうち、因果関係が見えてくるが、ノーヒントでも分かる子とそうでない子がいる。そこで次のように指示する。

指示2 農業生産額が多い県は、他のどの項目が多いのでしょうか。産業別人口割合、耕地面積などの項目を比べてみるようにしましょう。

ここで統計の赤文字に順位をふっている子を、大いにほめて、全体に指示する。

さて、発問3の説明だが、北海道は、耕地面積・米・畜産が1位、野菜が2位であることから、生産額1位の理由を説明できる。生産額2・3位の千葉・茨城は、野菜生産額の多さから、4位の鹿児島は畜産2位から説明する。一方、耕地面積と米の2項目で2位の新潟が、生産額では5位である。米の生産は儲からないのかななどの疑問がでてくるだろう。また耕地面積4・5位の青森・岩手はなぜ生産額で5位に入らないかも着目点となる。

そこで同縮尺の地図、関東地方p.97~98と東北地方p.105~107を比較する。関東と東北では耕地の条件が異なることが理解される。すなわち関東は広い平野と台地、東北は盆地や扇状地がそのおもな耕地となっている。